

質問

インクルーシブ教育の考えは



教育長

共生社会の実現を進める

教育長 統合前後の

質問 慣れるまでは、これまでの学校の教師の配置や加配の協議はなされているか。

質問 いじめや嫌がられが不登校につながることもあり、互いを尊重し思いやりを育む等、学校教育の中での考えは。

教育魅力課長 家庭からバス停まで遠くなる児童は、殆んどいないと認識している。

質問 保護者が朝晩の送迎は大変。奥出雲交通との協議で貸し切り対応はできな
いか。

質問 小学校再編統合が迫っているが、バスが通わない地域の児童への対策は。

大垣 照子 議員

教育魅力課長

者が近くのバス停や待合所、児童たちが合流する場所まで送る支援として、通学助成の拡充・緩和を検討している。

質問 小学校再編統合が迫っているが、バスが通わない地域の児童への対策は。

加配や学習困難な児童もあり、加配をお願いしている。

質問 インクルーシブ教育は障害の有無に関わらず、全ての子どもが共に学び合う仕組みで、共生社会の形成に向けた教育制度。この教育への考え方と取り組みを

教育長 今後は新しい教育も進め障害に応じて、きめ細かい教育が

いいかと思う。特に最近、不登校等、これ等に関連して、教育の大

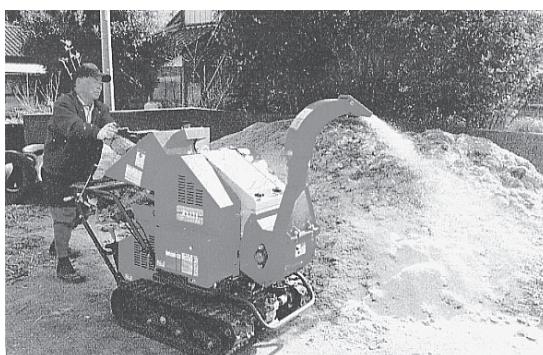
きな問題となっている。

に関わらず、全ての子どもが共に学び合う仕組みで、共生社会の形成に向けた教育制度。この教育への考え方と取り組みを

質問 最近、豪雨等の災害が大型化している。本町においては、山林管理が高齢化等により困難に。

町長 堆肥製造の副資材として、土壤改

有機栽培による農業の活性化にも貢献できる。竹チッパー・ユレッダーを導入し竹パウダー生産の考え方を

繁茂する竹の資源化を

竹チッパー・ユレッダーで竹パウダーに(資料)



竹パウダーに米ヌカを投入しボカシをつくる(資料)